



小野小学校 学校だより

第 7 号

わげんあいご
和顔愛語

令和3年 6月21日

水泳学習始まる！ 安全に、楽しく、水に慣れてほしい・・・。

水泳の学習が始まりました。水泳学習で一番大切なのは、水の事故から自分の命を守る力を付けることだと考えます。一定距離を泳ぐことで岸にたどり着くなど、泳ぐ力は命を守ることに繋がります。ですから、短い距離を速いタイムで泳げることより、ゆっくりでも長い距離を泳いだり、長い時間を自力で浮いたりできることの方が大切です。



長時間浮いている、ある程度の距離を泳げるようになるには、「水への恐怖心」を軽減することが重要になります。水の事故は、子どもたちの生命の危機に直結します。現時点で、お子さんが水を怖がる状況であれば、シャワーやお風呂で水(湯)をかぶったりもぐったり、プールや海・川で親子遊びをしたりして、親子で「水の恐怖心」を和らげる体験活動をしていただきたいと思います。命を守ることに繋がる体験です。

児童全員の個人面談を実施！

6月7～18日の期間、そうじ時間の工夫をして全員を対象にした個人面談を実施しました。これは、一人一人の児童と担任が向き合い、友達が聞いていると話しづらい内容も含めて対話し、児童理解を深めることを目的としています。友達関係や勉強のことなど、悩み事をゆっくり話すことができた児童もいますし、悩みなく過ごせている場合は、身の周りに心配な友達がいなかかなどを考えて、学級全体のことを話題にすることもあります。

面談でとらえた情報をもとに、子どもたち一人一人に一層寄り添っていくとともに、心配な情報については事実関係をとらえて適切に対応していきます。



初めての宿泊学習！……4年生！



4年生が16・17日、1泊2日の宿泊学習に行きました。学習として初めて、宿泊を伴う活動を体験してきました。小雨は降ったものの、野外調理や沢登りなどの体験を通して、協力することの大切さや、きつくてもやり遂げることの喜びを学ぶことができました。

この2日間の体験が、それぞれの学級の協力や励まし合い、難しい学習も諦めずに挑戦していく気持ちにつながることを期待しています。10月には、5年生の宿泊学習、6年生の修学旅行を予定しています。

6/28～「小野っ子の心を見つめる教育週間」

6/30(水)は1～3年生、7/2(金)は4～6年生の道徳授業参観と懇談会です。たくさんのご来校をお待ちしています。マスク着用、上履き持参でおいでください。

※裏面もご覧ください。



【校長の独り言・・・・・・・・】

「特別でない特別支援教育」をめざして

一人一人の成長スピードもゴールも違って当たり前……！

小野小学校には、ひまわり学級、たんぼぼ学級という2種類の特別支援学級があります。今回は、特別支援学級についての理解を皆さんに深めてもらおうと考えて書いてみます。

特別支援学級とは・・・・？

小中学校に設置される少人数の学級で、障害の種類や程度に応じて、きめ細やかな支援や指導が必要な児童生徒を対象としています。通常学級が先生1人に35～40人を限度としているのに対し、特別支援学級は先生1人に最大8人までで、目が行き届きやすい学級です。比較的軽度の障害のある児童生徒が対象です。

特別支援学級の種類は・・・・？

障害の種類によって、「弱視」「難聴」「肢体不自由」「病弱・身体虚弱」「言語障害」「知的障害」「自閉症・情緒障害」の7種類があります。本校には「たんぼぼ学級」＝「知的障害」、「ひまわり学級」＝「自閉症・情緒障害」の2種類の学級が設置されています。

学習の内容は・・・・？

本人の実態や特性に合わせた学習内容、学習方法とレベルで学習します。状況によりますが、所属学年の学習内容をその子にあったスピードと方法で学習することも、下学年の内容に戻って復習し、遅れを取り戻すこともあります。ほぼマンツーマンの状況ですから、きめ細やかな支援や指導が可能です。



また、その子が苦手な面、「困り感」を感じている面の学習も行います。たとえば、対人関係形成や生活のルールなどに関する事、生活習慣の確立や生活技能の習得、生活に必要な言語や数量の感覚などです。「日常生活」「生活単元」「自立活動」と呼ぶ学習を行っています。

学習の場所や時間は・・・・？

たんぼぼ・ひまわり学級の仲間は、生きる力を身に付けるために、大きな集団の中で社会性や協力について学ぶことも大切です。ですから、在籍は特別支援学級ですが、多くの時間を同級生と一緒に過ごしています。可能な学習は同級生と一緒にいき、給食なども一緒です。こういう交流を通して、たんぼぼ・ひまわりの仲間も交流先学級の仲間も、お互いの特徴を理解し、ふれあい方、助け合い方を身に付けていきます。



ただ、国語や算数など個人差の広がりやすい学習や、個別の各種トレーニングは学習の効果を上げるために、たんぼぼ・ひまわりの教室で行います。つまり、苦手な面の学習以外はできるだけ一緒に学びます。また、靴箱・名札・係の仕事・給食や掃除の当番、いろいろな行事の出番も個性に応じて柔軟に対応していきます。

どんな子どもに向いているの・・・・？

集団で一斉だと周囲が気になって集中できにくい子……

→ 個別に、マンツーマンで学習すると内容が身につく。

みんなと同じ方法、ペース、課題量では難しい子……

→ あった方法とペース、無理のない量で達成感を持たせ、「できる喜び」の積み重ねで自己肯定感を高める。



入級の手順は・・・・？

まずは担任にご相談ください。特別支援コーディネーターと一緒に、親身になって対応します。各種検査結果をもとにして本人の「困り感」を把握し、保護者の意向、学校の体制や施設の問題などについて校内で検討してから、市の就学指導委員会に諮ります。判定には時間がかかりますので、早めに相談することが大切です。次学年からの入級には、遅くとも年内の校内検討が必要です。

とにかく・・・・！！

→ 「何が何でも通常学級で……」

→ 「分からない授業を45分間……」

→ 「分からない授業を何時間も……」

→ 「集中できないで、ぼんやりする……」

→ 「分からない・できないことが増えていく」

→ 「みんなと同じ宿題だと家で終われない」

→ 「保護者のイライラも募る」

→ 「学校も家も楽しくない、勉強したくない」

という順で「二次障害」を起こさないことが大切です。

※ 裏面もご覧ください。